

シーボルト記念館だより No.87

Siebold Memorial Museum Journal

企画展「シーボルトとオタクサ」4月17日（金）～6月21日（日）

シーボルトは、日本のアジサイを愛し、熱心に収集し研究しました。その花の一つに、愛する女性「おたきさん」にちなんで「オタクサ」と名づけたことでも有名です。帰国後、『日本植物誌』を刊行し、様々な種類のアジサイを紹介し、世界に広めました。本展では『日本植物誌』をはじめ、シーボルトとアジサイゆかりの資料等を展示します。

【主な展示予定資料】

シーボルト妻子像螺鈿合子（複製）、「あじさい属日本植物原稿」（復刻本）、シーボルト他『日本植物誌』第1巻・第2巻（初版本）他

企画展「横山家資料展」8月21日（金）～9月13日（日）

長崎の旧家・横山家からの資料寄贈にあわせて、シーボルトともゆかりのある横山家の歴史と寄贈資料の数々を紹介します。

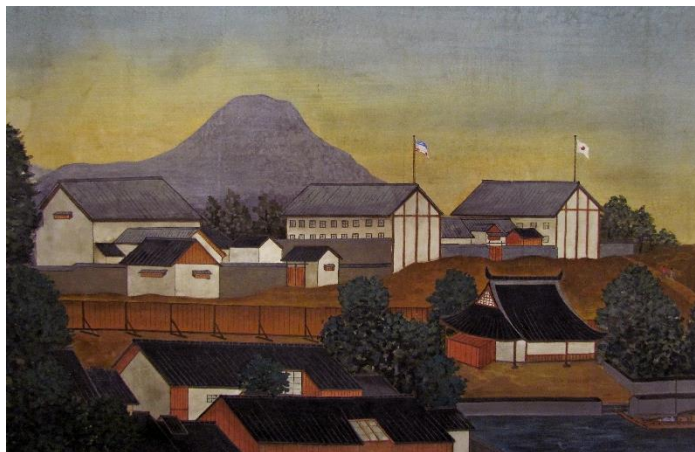
特別展「シーボルトとポンペー「鳴滝塾」から養生所へ」

10月2日（金）～11月8日（日）

長崎（小島）養生所跡資料館開設を記念して、日本の医学の発展に影響を与えた二つの学び舎-シーボルトの「鳴滝塾」とポンペーが創設した小島養生所を紹介するとともに、シーボルトとポンペーの交流をはじめ、その後継者たち-ボードイン・マンスフェルトらオランダ医師たちの活動を紹介します。

【主な展示予定資料】

キヨソネ筆シーボルト肖像画、ポンペー肖像画、シーボルト宛ポンペー書状（国指定重要文化財）、「長崎養生所図」（右写真）、ポンペー『日本における五年間』他



※なお、名称・期間等は変更となることがあります。

『鳴滝紀要』第30号を発刊しました。

研究誌『鳴滝紀要』の最新刊（A4判、154ページ）をこのほど発行しました。定価は1冊2,000円。記念館で販売しているほか、郵便でも受け付けております（その場合は送料が別途310円かかります）。バックナンバー第7号～（8・9・25・26号完売、7号はあとわずか）もございます。くわしくは記念館までお問い合わせください。

<主な内容と著者>（敬称略、なお肩書は執筆時のものです）

- ・シーボルト記念館所蔵泉屋家文書「脇荷貿易品史料」について
石田 千尋（鶴見大学文学部教授）
- ・江戸滞在中のオランダ商館長ドゥ・ステュルレルとシーボルトの関係（1）
ドゥ・ステュルレル「江戸参府日記」に基づく諸考察を中心に－
梶 輝行（横浜薬科大学教授）
- ・男爵アレクサンダー・フォン・シーボルト「公爵伊藤博文に関する個人的回想」
堅田 智子（流通科学大学講師）
- ・長崎通詞について－史料にみる阿蘭陀通詞の実態－
織田 毅（シーボルト記念館長）
- ・史料紹介（1）伊東昇迪「西游雑記」、（2）石井信義「明治七年日記」（二）
- ・平成30年・令和元年利用状況・事業報告・職員名簿

資料が寄贈されました

長崎市の横山定子様から、このほど当館に資料のご寄贈がありました。その資料は、江戸時代から同家に伝わった什器等計84点で、器物の他にも「年中行事」や書状など文書資料、くんちの庭見せに使用された家紋入り幔幕や掛け軸（馮如鏡筆竹図）も含まれています。横山様は平成2年にも家伝の古文書をご寄贈いただいております、今回で2度目となります。

中でも注目されるのは、シーボルトの江戸参府時に同行した横山喜三太が京都で購入したと考えられる「桃絵朱吸物碗」（箱入り10合、右写真）で、箱蓋裏には「文政九戌四月求之」と書かれ、江戸参府の帰途に求めたことがわかります（京都滞在は同年4月26日～5月1日）。

これらの資料は、企画展「横山家資料展」で展示・公開する予定です。



令和2年（2020）4月1日発行 シーボルト記念館

〒850-0011 長崎市鳴滝2-7-40

TEL 095-823-0707、FAX 095-823-0170

E-mail siebold@city.nagasaki.lg.jp